

福光中部小だより

令和8年2月19日

No.547

南砺市立福光中部小学校

E-mail es_fukumitsuchubu@nanto.ed.jp



ホームページ

今年度の重点目標、アクションプランの振り返りから

教務主任 松本 恵美

今年度の重点目標「やってみよう ～いつでも どこでも どんなことでも～」に対する児童の振り返りでは、85%(2学期末時点)の子供が肯定的な回答をしました。4月当初より、この重点目標が、全学年の子供たちに、合言葉のように浸透していました。この結果が示すとおり、様々な場面で子供たちが「やってみよう」と主体的に活動に取り組む姿が見られました。本校が目指す子供像に向けての目標とアクションプラン達成率は、下図のとおりです。

【学校教育目標】 自ら考え 思いやりをもって たくましく生きる中部っ子

<今年度の重点目標>

やってみよう ～いつでも どこでも どんなことでも～

徳

知

体

アクションプラン

相手の気持ちを考えて
行動する子供
目標達成率：80%以上
→達成率 81.6%

自ら学び、
進んで表現する子供
目標達成率：80%以上
→達成率▲79.2%

安全に気を付けて生活したり、
運動したりする子供
目標達成率：80%以上
→達成率 84.6%

また、その他の質問項目についての結果については以下のとおりです。

- ・自分で食べられる量や体の調子を考えて、給食を食べることができた。→87%
- ・学級活動の時間や係の時間に、学級の問題を見付けて友達と話し合うことができた。→79%
- ・タブレット端末を使って効果的に学習することができた。→86%
- ・福光地域や南砺市のことが好き。→86%

「自ら学び、進んで表現する子供」「学級活動の時間や係の時間に、学級の問題を見付けて友達と話し合うことができた」の項目で、課題がみられます。特に「友達と伝え合い、考えを深めること」については、よりよい手立てがないかを考察し、指導に生かす必要があります。

今年度は、残り1か月余りとなりましたが、この重点目標とアクションプランを最後まで意識し、子供たちの可能性を最大限に引き出せるよう、「チーム福光中部」として一丸となって支えていきたいと思っております。引き続き、保護者や地域の皆様の温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

3月の行事予定



| | | | |
|---------|-----------------------------|--------|-----------------|
| 3月2日(月) | 学期末特別日課(～3/3) 新通学班での登校開始 | 18日(水) | 学期末特別日課(～3/19) |
| 5日(木) | クラブ活動(今年度最終) | 23日(月) | 給食終了 |
| 12日(木) | 委員会活動(今年度最終) | 24日(火) | 修了式、離任式、ズック持ち帰り |
| 13日(金) | 卒業式予行 | 25日(水) | 学年末休業(～4/7) |
| 17日(火) | 卒業証書授与式 | | |

子供たちに学びの背中を見せる教師であるために

研究主任

本校では、自啓教育の理念のもと、主体的に学びに向かう子供の育成を目指し、日々校内研修に取り組んでいます。主な研修として、授業公開を通して、子供の学ぶ姿を基に授業づくりについて考えています。授業後には、どのような指導・支援が子供の意欲を高め、学びを深めたのかについて、意見を出し合いながら共通理解を図っています。

また、こうした授業研究に加え、日々のミニ研修では、ICTの効果的な活用や、互いの思いを温かく受け止め合う学級づくりについても学んでいます。教師が一丸となり、実践を通して授業改善について学び合い、新たな視点に触れながら、共に高め合っています。

このように、子供たちに「自ら学ぶこと」の大切さを伝える私たち自身も、学び続けることを大切にしています。これからも、子供の思いや願いを大切に研修を積み重ね、教師と子供が共に成長し続ける授業づくりに努めてまいります。



<事後研修会の様子>



クラブ活動

クラブ担当

本校の特色の一つとして、活発なクラブ活動があります。今年度は、教師の得意分野を一部取り入れ、「演劇クラブ」と「歴史クラブ」を加えました。

子供たちは、共通の興味・関心をもつ仲間と活動しながら、異学年での交流を深めています。例えば、演劇クラブでは「学習発表会で、友達や家の人を楽しませる劇をしたい」という目標を立てました。子供たちにすぐに台本を見せるのではなく、「どんなテーマの劇にしたいか」と問いかけ、まず子供たちからアイデアを引き出しました。子供たちは、これまでの生活経験を基に意見を出し合



<劇の発表をする子供たち>

い、「笑える劇にしたい」「少し怖い要素も入れたい」と話し合いを重ね、最終的に劇の台本が完成しました。

クラブ活動は、異学年の集団が自分たちで選んだテーマに向き合い、協力して取り組むことができる貴重な活動です。その楽しさを子供たちが実感できるよう、今後も支援を続けていきます。